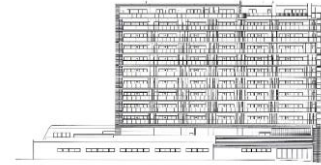


CASBEE®-建築(新築)

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2024年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2024_v1.22

評価結果

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)川西市栄町計画新築工事	階数	地上12F
建設地	兵庫県川西市栄町813-1他(地番)	構造	RC造
用途地域	第2種住居地域/近隣商業地域	平均居住人員	210 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	物販店,集合住宅,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2027年11月 予定	評価の実施日	2025年11月5日
敷地面積	2,994 m ²	作成者	塩田 雅樹
建築面積	2,004 m ²	確認日	2025年11月5日
延床面積	7,917 m ²	確認者	塩田 雅樹



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ホールライフカーボン(温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
BEE = 1.2 S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★ 環境品質 C 環境負荷 L	標準計算 ①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+ このグラフはLR3.1「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたWLC排出量の目安で示したものです。④は参考として運用分をBEI+で表示しています。	Q2 サービス性能 Q1 室内環境 Q3 室外環境(敷地内) LR1 エネルギー LR2 資源・マテリアル LR3 敷地外環境

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
Q 環境品質		
Q1 室内環境 Q1のスコア= 3.3 音環境 熱環境 光・視環境 空気環境	Q2 サービス性能 Q2のスコア= 3.1 機能性 耐用性 対応性	Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 2.7 生物環境 まちなみ 地域性・
LR 環境負荷低減性		
LR1 エネルギー LR1のスコア= 3.4 建物外皮の 自然エネ 設備システ 効率的	LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 3.1 水資源 非再生材料の 汚染物質	LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 3.3 地球温暖化 地域環境 周辺環境

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
省エネ機器(LED照明及びエコジョーズ)を設置するとともに適切な断熱材を計画する事で断熱性能、一次エネルギー消費量に配慮した。	特になし。	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
外皮性能を断熱性能等性能等級5を満たす性能とすることで熱環境を向上させた。	構造部材を痛めることなく設備修繕が行えるように計画した。	中高木を多く植栽し敷地内の緑化に努め熱環境の向上に努めることでアメニティへの配慮を行っている。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
省エネ機器(LED照明及びエコジョーズ)の採用により設備システムの効率を図った。又住戸の外気に面する床、壁、屋根には高い断熱性を有する工法とし、外皮の熱負荷抑制を図っている。	オゾン層破壊係数や地球温暖化係数が極めて小さい断熱材の採用により汚染物質含有材料の使用回避をはかっている。	省エネルギー化により、ライフサイクルCO2排出率を抑制し、地球温暖化へ配慮した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ホールライフカーボン(WLC)」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の温室効果ガス排出量のこと。ここでは、建築物の寿命年数で除した年間温室効果ガス排出量で表示。

■評価対象のWLC排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される